

8/2(月) 3時30分～5時

# 命に代わる借金なし

## 那覇で自殺対策シンポジウム



「支えあおう『命どう宝』」ひどりで悩まないうでをテーマにした自殺対策シンポジウム(県司法書士会主催)が7月31日、那覇市の県男女共同参画センター・1にいるで開かれた。登壇者の多くは、多重債務など経済的理由で自殺する人が県内で増えている現状に対し、「借金問題は必ず解決できる。命に代わる借金などは」と訴えた。大勢の聴衆が熱心に話を聞いた。

## 周囲「気付き、声掛け」を

県司法書士青年の会の安里長従会長は「相談者のだ



①自殺対策について活発に議論を交わす登壇者たち②登壇者の話を熱心に聞く聴衆7月31日、那覇市の県男女共同参画センター・1にいる

らい回しではなく、気付き、つなぎ、見守るという三つの行動が大切」と強調。琉球大医学部精神病態医学講座の田中治助教は「悩んでいる人と出会ったら『大変ですね、一緒に考えましよう』と声を掛けられる『おせっかいアライント・沖縄』をきっかけ」と提言した。

沖繩いこの電話の渡久山朝裕運営委員は自殺志向の相談件数が増加傾向にある。一人で悩まないうでと語る。県障害保健福祉課職員の田場昇氏は県内の自殺者の統計などを紹介した。シンポに先立ちこころの声を聴くために」と題し講演したNPO法人多重債務による自死をなくすコアセンター・ユズメの弘中照美理事長は「お金のことは必ず解決すると叫んでいきないう」と強い決意を表明した。